

丹後はぐくみネットワーク通信

京都府丹後教育局
TEL0772-22-2175

第5号（通算23号）
FAX 0772-22-0479

平成24年10月31日

HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/cms/>

平成24年度地域支援リーダー研修会を開催しました！

（「京のまなび教室」指導者等研修会〔丹後会場〕）

講演：京都大学総合博物館長 大野照文 様

日時 平成24年10月3日（水）午前9時15分から午後12時30分
場所 与謝野町立生涯学習センター「知遊館」
参加者 京のまなび教室指導者、放課後児童クラブ指導員、地域子ども教室指導者、公民館職員、社会教育関係者等、計70名が参加
ねらい 地域社会の中で子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進するため、「京のまなび教室」をはじめとする放課後・週末対策事業関係者の資質向上を図る。



実践発表：海部子ども土曜お楽しみ会 コーディネーター 野村博史 様



分散会



京丹後市「海部子ども土曜お楽しみ会の取組」と題して、コーディネーターの野村博史様に実践発表をしていただきました。「子どもの居場所づくりが保護者や地域の居場所づくりとなる。」「取り組む姿勢と継続していくことが大切である。」など、多く学ぶことができました。分散会は、「好奇心を高める体験活動づくりについて」をテーマとし、情報交換・交流を深めました。

二枚貝である「はまぐり」を素材にした参加型・体験型の講演では、グループごとに素材をじっくりと見て、はまぐりの生態について考えを交流しました。

子どもたちが好奇心を持ち、体験活動に取り組むために、どう素材を活かして指導していくかについて具体的に御教示いただきました。特に、指導者が、参加した子どもたちの知恵や意欲を引き出す進行役に徹することが大切であることを学びました。

参加者の感想

- ・貝体新書～貝に対する認識を新たにしました。どんな物にも興味を持ち、観察していきたい。学童保育にも活用したいと思いました。
- ・ゆったりと見ること、一人一人の考えを聞くことを再認識させていただき、大いに参考になりました。今後、今日の学びを活かしていきたいと思えます。
- ・「進行役は、参加者の知恵を引き出す。」の言葉…。今後子どもたちの主体性を大切に、子どもたちの知恵を引き出す工夫をしていきたいです。

連携ナビゲーション

～学校・家庭・地域社会の連携を推進するために～

管内各地で「京のまなび教室」が実施されています。

管内の各公民館においても、「京のまなび教室」をはじめとし、さまざまな体験活動や体験教室が行われています。

地域の大人と子どもが活動を通してつながり、「地域の子どもは地域で育てる」気運が広がっています。



京丹後市網野地域公民館
ユタッコ仲間「脱穀」



与謝野町加悦地域公民館
京のまなび教室「茶道」



与謝野町岩滝地域公民館
京のまなび教室「美術」

子どもたちを包み込むはぐくみの環境づくりが進むよう、学校・家庭・地域との連携を深めていこう！！